



# 紺碧

調布稲門会 会報

2020.6 第52号

年2回(1月、6月)発行

事務局 〒182-0022

調布市国領町 7-56-14

芦澤友雄方

Tel&Fax 042-489-6507

E-mail toumonkai@gmail.com

URL (HP) https://tohmonchofu.jimdofree.com/

編集責任者 高原浩 柵木真也

## 山田和子氏、新会長に就任—女性会長は2人目

—調布稲門会の活性化に向け抱負を語る—

「稲門会を会員のオアシスに」

「ネットの力を最大限活用、町内単位の会員交流・親睦も促進」

調布稲門会の本年度総会（6月書面総会）で新会長に山田和子氏が就任しました。女性会長は4代前の河野瑠美氏以来2人目です。山田氏は昭和49年文（露文科）卒、学生時代には札幌五輪で通訳、また英国ロンドンでの生活も長く、国際経験が豊富です。昨年6月に岡田文男前会長の急逝に伴って会長代行を務めてきました。長らく副会長として稲門会活動の第一線に立ち、調布市福祉まつりバザー対応では常に主導的な役割を果たしてきました。また同好会活動でも「語ろうアースカフェ」代表として諸外国事情の紹介・交流事業に力を尽くしています。会長就任にあたり、調布稲門会の活性化や新事業の展開などについて抱負を語ってもらいました。（編集部）

<写真=1頁目、田中愛治総長と（東京三多摩支部大会）、2頁目、会長OBら大先輩と（福祉まつりバザー）>

### ◇ご挨拶

この度調布稲門会会長に就任致しました山田和子です。どうぞよろしくお願い致します。本年の総会は新型コロナウイルス感染症拡大予防で、予想もしなかった書面総会となりました。そのため、皆様へのご挨拶と抱負はこの会報の紙面上で述べさせていただきます。

私が会長就任を決意したきっかけは昨年6月の岡田文男会長の急逝（心筋梗塞）でした。かつて私も軽症で済みましたが、同じ病気の経験があり、命をつないだ私が引き継ぐしかないと考えて会長代行となり、本年度の会長をお引き受けした次第です。いまは新型コロナウイルス感染の早期終息を願うばかりですが、当面はコロナと共生しながらの会の活動を考



えていかなければなりません。皆様には不自由をお掛けすることとなりそうですが、どうぞご理解の程お願い申し上げます。

### ◇若返り新体制と、オアシスのような会づくり

本年度の役員、幹事の構成は次の世代の体制を念頭に置き、昭和55年卒前後の方を中心としました。新幹事も多く、その柔軟で自由な発想を取り入れつつ、会のあり方を一緒に模索していきます。本年度は、会

員一人一人が、調布稲門会がオアシスと思って頂ける温かい会づくりを目指します。同好会、キテネプロジェクトの既存の運営はもちろんのこと、新規重点テーマとして「インターネットの活用」と「ポスティング制度の活用」の2つを考えています。

### ◇インターネットの活用

会わなくても会員一人一人が繋がれる環境を整える。まずはホームページ、フェイスブックの充実、Eメール登録会員の交信とオンラインの活用などです。若い世代をE-会員として迎える方法も検討します。このネットの力を実感した実例が5月に2件ほどありました。コロナ対策でSTAY



HOME 中、関連の事業を2つほどネットの力を借りて企画・実施しました。一つは年末福祉バザーの値付け会場としてご協力頂いている特別養護老人ホーム爽爽荘への政府支給等マスクの寄付、もう一つは早大困窮学生支援のための10万円の寄付です。マスクは幹事、女性の会、調布市民の関係者から多数届けられました。

### ◇ポスティング制度の活用

町内ごとの小規模な単位での親睦を考えています。現在あるポスティング制度を発展・高度化して、単に郵送料軽減だけでなく、町内単位の身近な会員間の親睦・コミュニケーションを深めていきたい。コロナ禍の今、皆さんに共感して頂けると思います。

### ◇40周年事業の展開—新しい調布稲門会へ

調布稲門会は1981年（昭和56年）10月に設立され、来年10月に40周年を迎えます。コロナ禍を機

に40周年記念事業の考え方も変わるかもしれませんが、本年度中に準備を進めていきます。この1981年という年は私にとっても忘れえぬ年。若い頃、会社が紀行文出版のための取材をお願いした作家向田邦子氏が台湾で航空機事故死し、向田氏に同行した若い同僚も犠牲に。運命の

歯車が少しずれていれば実はその同僚ではなく私だったかもしれない。そこで拾った命は大切にしなければと心に誓いその後を生きてきました。同じ40年の歳月、実に感慨深いものを感じます。

### ◇コロナと共生し新しい稲門会活動を

今後はコロナと共生することを念頭に置きながら、しかしコロナ禍を負うものと捉えるのではなく、新しい調布稲門会を構築するチャンスにしたいと思っています

皆様、よろしければ会長宛てに応援メッセージ、提言など直接お送り下さい。お待ちしております。

Email: [kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp](mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp)

Tel: [090-8033-9626](tel:090-8033-9626)（できれば午後9時以降）

身近にある調布稲門会がどうか皆様のオアシスとなれることを願っています。

## 2020 書面総会 | コロナ対策で初の書面（みなし）総会となる—第39回（2020年）年次総会

### 早大の困窮学生支援で10万円寄付など盛り込む

今年は新型コロナウイルス感染症拡大対策のため、校友会の方針もあって各地稲門会の会合が軒並み中止、調布稲門会も当初予定の5月16日の総会を断念して初の書面（みなし）総会に切り替えました。6月中に郵送した議案について会員に賛否を尋ねた結果、特に異論なく原案通り可決、承認されました。

今総会で山田和子氏（会長代行）が新会長に就任し、新しい役員・幹事体制に移行することになりました

た。議案の概要は例年とさほど変わりませんが、総会費用が大幅に減ったこともあって、コロナ禍で苦しむ早大の困窮学生支援のため10万円の寄付事業を組み入れたこと、40周年事業（来年度）を今年度の事業計画に入れ、具体策を固めることなどが特筆事項となっています。

また人事面では懸案の若返りを主眼に、副会長、副幹事長の役員ポストを大幅に増やし、昭和55年卒前

後の幹事を中心に担当してもらうことにしました。また新幹事も若手中心に増強しました。若い世代の登用により柔軟な発想でエネルギーでより機動的、効果的に会の運営を図るためです。（編集部）

◇人事（6月）＝新任、退任のみ掲載、()内は前職

【新任】会長（会長代行）山田和子<昭49文>▽副会長（副幹事長）石田欣也<昭55商>▽副会長、会計明石純一<昭58商>▽副会長（副幹事長）涌田みちる<昭58理工>▽副幹事

長（幹事）原田敦夫<昭52法>▽副幹事長（幹事）萩原稔<昭55教育>▽副幹事長（幹事）天野凡子<昭56文>▽幹事、仲野勝<昭48政経>▽幹事、後藤秀樹<昭55理工>▽幹事、中谷俊一<昭56教育>▽幹事、川嶋菊枝<昭58文>▽幹事、山田あかね<平7人間科学>▽幹事、納谷知広<平13商>

【新任】顧問、河野瑠美<昭36教育>

【退任】幹事、松野宏<昭43教育>

## 調布稲門人

第4回 NPO法人「ちょうふの風」運営者 嶋田浩一さん(55) 平2教育

知的障がい児童の放課後活動を支援——今後は「外国籍移住家族」「小児病棟に入院する子ども」支援も

<取材・構成 編集部・高原浩>

調布稲門会の主要な会合の余興で演じる嶋田さんの口演「人生劇場」はすっかり名物になった。岡田前会長から譲り受けたという角帽姿のいで立ち（写真）

で青成瓢吉になり切った怪演は会場内を圧倒する。そんな芝居気たっぷりの嶋田さんだが、本業は国領町にある知的障がい児童の支援施設 NPO 法人「ちょうふの風」の運営者。地道で人間味あふれた仕事だ。



「ちょうふの風」の登録児童数は36人。嶋田さん夫妻はじめ稲門会メンバーの涌田みちる、堀井時枝さんを含め18人のスタッフがいて、支援学校に通う児童（小1～高3）を下校時に学校まで迎えに行き、この施設でいろんな活動・遊びをして社会性を身につける支援をしている。あわせて同施設では3年前から一般の児童対象の子ども食堂「こくりょう子ども食堂わいわい」も開設、「地域の第三の居場所」として定着させた。ここでは一年中、子どもたちの元気で明るい笑い声が絶えない。

9年ほど前、会社の営業幹部として円熟した生活のさなか、大病を患って人生観が変わった。台湾駐在時に知り合った夫人と2人の子どもに支えられ、なんとか苦境を乗り越えられた。そして当時、ボランティアで手伝っていた障がい児童の水泳教室の経験がバネになり、夫婦で「ちょうふの風」を設立。この2

つのプロジェクトから地域の様々な人々との交流やネットワークが生まれた。縁あって近所にある成人の障がい者施設「ポピーの家」の運営にも関与、さら

に調布市社会福祉協議会「市民活動支援センター」の運営委員も委嘱され、「福祉の実践をさらに広い視野で意識できるようになった」という。こうした活動の原点は学生時代までさかのぼ

る。ボランティアや社会活動に没頭、大隈講堂で土井たか子社会党委員長の講演会も企画・開催した。その縁で当時住んでいた中野区の区議会議員選挙に立候補した経歴（残念ながら僅差で落選）もある。

「外国籍移住家族の地域での関わり」が当面、第3の課題。そのため武蔵野大学大学院で新たな勉強・研究を始めた。さらに「小児病棟に入院する子ども達との関わりづくり」を第4の取り組み課題と位置付けて、「できれば博士課程に進み学位も取りたい」と意欲を燃やす。55歳の年齢で仕事の傍らこの馬力はどこから生まれてくるのか。北九州市生まれ、福岡県立八幡中央高出身、「思い込んだら命懸け」の九州男児の熱い血を感じる。65歳までにこの4つのテーマを体系化できれば、夫人の故郷台湾に行つて福祉活動を展開し、「お世話になった台湾に少しでも恩返しできれば」という「夢」がある。

**2020 新年会****◇潮田幹事のピアノ弾き語りで盛り上げ**

2020年1月25日（土）、新年会を調布クレストンホテル8階宴会場で開催しました。出席者は会員・準会員および来賓の長友貴樹調布市長（慶大出身）と、香港からの留学予定者ら2人のゲストを含む56人、前年を大幅に上回る盛り上がりを見せました。まず山田会長代行が、調布福祉まつりバザーでの取り組みは大成功だった、などと開会挨拶を述べ、次いで全員起立して吉尾勝征顧問（元調布市長）ら3人の物故者に黙とうを捧げました。乾杯の音頭は柴崎2丁目在住で会員歴5年の池澤辰夫早大理工学部名誉教授（91歳）にお願いし、歓談に入りました。

今回、見知らぬ会員同士の交流・会話を深める狙いもあって、着席テーブルを初めてくじ引きで決めました。調布駅前広場の素晴らしい夜景が一望できる宴会場には6つの円卓が置かれ、くじに従って着席した出席者は飲み放題のアルコール類と次々と運ばれてくる料理を楽しみながら思い思いの会話に時間を忘れたようです。

今回の目玉アトラクションは「潮田健太郎幹事のピアノリサイタル」。ジャズナンバーのピアノ弾き語りをたっぷり、そのプロはだしのハスキーボイスは聴衆を魅了しました。この日のゲスト2人、4月に理工学部大学院経営デザイン専攻科に入学予定の香港留学生鄭顯熙（テイ コウキ）さんと青年企業家の宇田川康晴さん（平23法）も登壇して挨拶、盛大な拍手を浴びました。最後は、恒例となりつつある嶋田浩一幹事の口演入り「人生劇場」をみんなで腹の底から唸り、そして「校歌」の大合唱と記念写真撮影（写真）をしてお開きとなりました。（編集部・高原浩）＝関連写真を最終頁に。

**出席者** 長友貴樹（来賓）、青木一夫、明石純一、芦澤友雄、五十嵐眞、池澤辰夫、石井光二、石井宏和、石倉毅、石倉恵子、石田欽也、岩崎博重、潮田健太郎、宇田川康晴、小笠原忠八郎、鹿島裕一、神谷

博、河野瑠美、小林正子、後藤秀樹、齊藤宗之、椎原大典、柴多和夫、嶋崎慎太郎、嶋崎真紀子、嶋田浩一、鈴木光孝、関口憲三、高原浩、坪井貞光、鄭顯熙、中谷俊一、中野完二、仲野勝、直木純二郎、濁川寿次、濁川マサ、野部肇、野村大也、萩原稔、原田敦夫、林貞夫、坊野美代子、堀内正之、柵木真也、柵木玲子、松野宏、松村啓之亮、元木勇、森山耕一、安松董矩、山口泉、山崎正昭、山田和子、浦田みちる、和久田豊

**キテネプロジェクト****◇鍼灸講演会、町島会員が講演、実演も関心呼ぶ**

2019年度第3回目のキテネのイベント「鍼灸のそこが知りたい 鍼灸治療の実際を知る講演会」を2020年2月8日（土）、調布市文化会館たづくりで開催しました。前年の整形外科医による講演会「膝の痛い人 大集合」に次ぐ医療講演会で、この時、「針灸はどうなんだ」という声が上がったことに応えた企画です。当初危ぶまれた参加人数も最終的には29人を数えました。鍼灸といえどかく未経験の人には敬遠されがちになるもので、事実今回も大半の人が初めてのよう。

講師は当会の会員で現役の鍼灸師、町島信雄先生。鍼灸は血流を促進して体調の回復、維持することが狙いと説き、そのための各種の鍼や灸の取り扱い方法を紹介、また一般的に有効とされるツボは360以上あって、疾患全般に効き、鍼灸師には指の感覚で不調な箇所が分かるというお話でした。



その後参加者との質疑応答を経て、後半の希望体験コーナーでは実際に希望者の膝に鍼を打って治療する実演（写真）があり、参加者は熱心に見学しました。（担当幹事松野宏）

**参加者** 明石純一、芦澤友雄、天野凡子、五十嵐眞、石井宏和、石田欽也、潮田健太郎、大谷裕子、鹿島裕一、神谷博、小林正子、高原浩、坪井貞光、直木純二郎、濁川マサ、野川芳之、原田敦夫、堀井時枝、堀内正之、堀内あや子、柵木真也、松野宏、森山耕一、山口泉、山田和子、山田壽三夫妻、和久田豊、渡邊京治

## 会員のエッセー

### ♪♪ 赤じゅうたんの輝く楽しい店でライブ月例企画を20年、新宿「J」よさらば ♪♪ —早稲田ゆかりのジャズ殿堂4月末閉店を惜しむ—

傘寿にして新宿ジャズスポット「J」と悲しい別れになりました。「J」は2020年4月末で41年の歴史を閉じましたが、「J」には客として40年間、会社定年後にサポートプロデューサーとしてライブ月例企画を20年間担当、お世話になりました。

月例企画では編成、司会進行、前歌をさせていただきました。幸田稔マスターと45周年までは頑張ろうと約束していたのに彼の事情(健康問題)で終了とは本当に残念です。ただ閉店が決まったあとに新型コロナが猛襲、神が定めた幕引きかもしれません。

店の産み母体、早稲田大学モダンジャズ研究会(通称ダンモ研)は、私が在学中に創部、この時、私は早大混声合唱団のマネジャーをしていました。ダンモ研はまだ駆け出しで演奏会開催の催行集客面ではノーマークでしたね。ダンモ研の活動が活発化したのは私の卒業後、幸田稔氏はじめ、キラ星のご



スマイリーさいとうこと、齊藤宗之(昭39法)ときプロミュージシャンを輩出することになります。タレントのタモリ氏もその一人。

「J」では私も母校愛からバンド編成はダンモ研出身の小谷教夫氏(ピアノ)、神村英男氏(トランペット)たちをよく呼んで、幸田マスターの店盛り上げに一役買いました。私の月例ライブ企画は、初

め集客面で苦心しましたが、私の愉快的MCを両立させたライブと予約客参加型セッションのスタイルを採用したこともプラスになり、参加者の輪が段々と広がっ

て盛況が続きました。延べ100人を超すボーカルさん、あまたの有名ミュージシャンの方々、お呼びした出演者の皆さん、店長はじめ歴代スタッフの皆さん、そしてなにより応援して下さいましたお客様、心より感謝申し上げます。赤じゅうたんの輝く楽しい名店「J」のステージでした。本当にお疲れさまでした。(写真は、私の最後のステージ、2020年3月31日)

## トピックス・◇短信

### 岡田前会長の募金積立金不足分、有志20人が寄付—早稲田アリーナ募金

調布稲門会の有志20人が、岡田文男前会長が個人で積み立てていた早稲田アリーナ募金の不足分を寄付して予定額を埋め、銘板に岡田氏の氏名が刻印される運びとなりました。芦澤友雄幹事長の呼びかけに賛同したもので、岡田氏急逝の結果、予定額10万円に2万円不足していたため、幹事・会員有志20人がこれに応じました。早稲田アリーナは、戸山キャンパスにある旧記念会堂の建て替えにより国際級のスポーツイベントも開催可能な最新のスポ



ーツ施設・式典会場(写真は施設の一部、内部の様子)となるものです。同施設の地下2階に募金寄付者銘板が設置され

ます。3月末日締め切り前の2月14日に校友会事務局に不足分を無事納入できました。有志20人の方は下記の通りです。(編集部)

明石純一、芦澤友雄、天野凡子、五十嵐真、石井宏和、石田欽也、潮田健太郎、大浦広己、大塚公久、嶋田浩一、高原浩、坪井貞光、坊野美代子、柵木真也、松野宏、松村啓之亮、

安松董矩、山口泉、山田和子、涌田みちる

### ◇特養老人ホーム爽爽荘にマスク寄付、喜ばれる

役員、幹事、女性の会の皆様、マスク等のご寄付を有難うございました。数回に分け、政府支給等マスク 163 枚、使い捨てマスク他を特別養護老人ホーム爽爽荘に届けました。このホームでは約 50 名のスタッフが入居者の世話をしています。コロナ禍の中、マスクはまだ不足しています。第2波の備えも必要です。「助かりますとお伝えください」と施設長の大槻暉子さん



（準会員、写真中央の方）から稲門会へのメッセージを頂きました。調布市福祉まつり・バザー提供品の値付け作業に毎年、爽爽荘のホールをお借りしています。お互い様の気持ちから、今回は調布稲門会が動きました。

なお調布市社会福祉協議会は 6 月 18 日、本年末の第 43 回調布市福祉まつりを中止すると発表しました。今年はバザー収益金からの福祉団体・施設への分配金がなくなるわけで、調布稲門会としても相応の寄付金集めを別途検討したいと考えています。（山田和子）

### ◇新ホームページ5月開通

#### 調布稲門会の広報ツール再開、昨年6月以来

昨年6月半ばから機能を停止していた調布稲門会のホームページ（HP）が新装なって5月から再開しました。同じプロバイダーのソフトにより旧HPのコンテンツをそっくり移植しました。テンプレート（表紙）のデザインも概ね踏襲、継続性を維持して見やすくしてあります。ただ背景は、月夜の大隈講堂から青空に映える昼間の明るい大隈講堂に変え、若々しさを強調しました。

昨年6月にHPの単独管理者だった岡田前会長が急逝したため、以後1年間、情報技術上の問題で内容更新がストップしていました。その管理を引き継いだ潮田健太郎幹事（副会

長）が年明け後から数カ月をかけ、力仕事で完成させました。昨年6月以降のイベントや特記事項そして最新のコンテンツも5月から順次、投入され、調布稲門会の広報ツールが正常化にこぎつけました。（編集部）

### ◇新会員紹介（前号発行後入会＝氏名、卒年・学部）

【正会員】宇田川 康晴（平 23 法）、内山 康夫（昭 51 理工）、佐藤 三千男（昭 47 政経）、高橋 英明（昭 46 商）

○正会員再入会 保科 哲也（昭 45 法）

【2020年6月4日現在 正会員 159 人、準会員 35 人】

### ◇年会費振込先のご案内（口座名「調布稲門会」）

みずほ銀行調布支店 普通 0997965

## 元気はつらつ！同好会

【語ろうアースカフェ】 代表 山田和子（昭 49 文）

### 2月「北マケドニア講座」「ブルガリア講座」実施

語ろうアースカフェ主催市民講座、北マケドニア講座「タイムレス、フレンドリーで、グルメな逸品の国」（全1回/2月2日、写真）とブルガリア講座最終回「バラとヨーグルトの国ブルガリア」（全4回/2月15日）が開催された。

前者講師は東京外国語大学大学院修士課程卒、旅行記者のゾリア・ペトコスカ・カラージェヴァさん。北マケドニアに関する講座は珍しいからか参加者 45 人（定員 50 人）。今回は全 1 回講座のため講義内容は国の歴史、地理、文化



の概要。参加者からの要望もあり、続編も企画することになった。

後者講師は早大大学院国際コミュニケーション研究科卒アントニオ・アナトリエフ・アンゲロフさん。通訳コーディネーター・タレント・料理講師と活動の幅を広げている。最終回のテーマはブルガリア料理。3月に番外で企画したブルガリア料理を食べる会は新型コロナ感染拡大により中止に。両講義とも日本ではまだ紹介されていない情報が多く、受講者を飽きさせなかった。

今回の企画は隣り合う2カ国の紹介。両国の対比が面白かった。例えばキリル文字。アントニオさんは、それがブルガリアで誕生したと話したが、誕生の地は示さなかった。その地はブルガリア王国時代の首都であったオフリド（現在北マ

ケドニア)。ゾリアさんは当然のことながらキリル文字はオフリドで誕生したと解説した。

最終講座の後はいつもスリジェで打ち上げ会をしてきた。今回も同様。しかし新型コロナ禍でこの調布の名店の灯も消えた。

<今後の予定>①食文化講座「知っておきたい食の国際儀礼」第1回10月3日（土）世界の食文化とマナー、第2回11月7日（土）様々な宗教の食規定/午前10時～12時共通

②「ベルリンオリンピック民族の祭典」上映会&国際交流に関するミニ講演会 2021年5月29日（土）

③モルドヴァ講座（全4回）2020/10/31（土）、11/14（土）、2021/1/16（土）、2/6（土）午後2時～4時（第4回は午前10時～12時）

会場は①～③ともに「たづくり」映像シアター、

申込：[kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp](mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp)

なお①、②は新型コロナ感染拡大の影響で、延期した講座。

## [ボランティア・ネットワーク Bor・n]

代表 坊野美代子（昭53教育）

### 講演会「音楽の力」開催、発達障害児の笑顔求めて

2020年2月1日に、第4回目のBor・n講演会「音楽の力」を実施しました。この講演会は、発達障害児・者の理解と支援を目的に、年に1度ボランティア・ネットワーク同好会の主催で、一般の方にも公開して行っているものです。

今回の講師は洗足学園音楽大学教授の吉田真理子氏。吉田氏は都立特別支援学校の音楽の教師として、また管理職として、長年にわたり特別支援教育に貢献されてきた方です。現在は大学で音楽の教師を目指す学生の育成をされています。

講演では、特別支援学校の生徒と東京交響楽団や東京芸術大学との音楽コラボレーション実現への導きや、障害のある

子供たちと交流するためのキーポイントについてお話いただきました。後半は、リズム遊び体験や、楽器（トーンチャイム）を使った演奏体験を参加者全員で行い、音楽を介して笑みがこぼれ、人と人が繋がることを実体験できました。

参加者の感想では、音楽の力が身近な誰かにも役立つ、障害があるなしという世界のくくりがゆるくなっていければと思う、笑顔が増えていく支援が出来れば社会が明るくなる、等々多くのエールを頂きました。

稲門会参加者 15人

明石純一、五十嵐眞、石田欽也、潮田健太郎、宇野良子、川島秀子、嶋田浩一、濁川マサ、坊野美代子、堀井時枝、松野宏、松村葉子、元木勇、安松董矩、山本公子

## (各同好会の代表者と連絡先)

同好会	代表者	電話番号	メールアドレス
囲碁	濁川 寿次	042-483-6966	
語ろうアースカフェ	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>
カラオケ	潮田 健太郎	090-9231-8902	<a href="mailto:usshie@gc4.so-net.ne.jp">usshie@gc4.so-net.ne.jp</a>
クッキングパパ	舟久保 賢一	090-1665-0247	<a href="mailto:funaken-totoro@docomo.ne.jp">funaken-totoro@docomo.ne.jp</a>
硬式テニス	保科 哲也	090-2547-6222	<a href="mailto:ted1201@jcom.home.ne.jp">ted1201@jcom.home.ne.jp</a>
ゴルフ	平松 勲	090-5342-4449	<a href="mailto:isao.hiramatsu.195011@docomo.ne.jp">isao.hiramatsu.195011@docomo.ne.jp</a>
女性の会	山田 和子	042-488-0741	<a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a>
調布ダンス	元木 勇	03-3300-4554	
調布太極拳	中野 完二	042-485-0523	
フラダンス	大谷 裕子	042-485-7489	<a href="mailto:onaona.mokihana@ktf.biglobe.ne.jp">onaona.mokihana@ktf.biglobe.ne.jp</a>
ボランティア・ネットワーク	坊野 美代子	042-485-0661	<a href="mailto:miyo.bono@gmail.com">miyo.bono@gmail.com</a>
麻雀	石田 欽也	080-1021-9105	<a href="mailto:kinya_ishida@toyo-mebius.com">kinya_ishida@toyo-mebius.com</a>
ワンゲル	石倉 毅	090-8587-1909	<a href="mailto:isicra996@jcom.zaq.ne.jp">isicra996@jcom.zaq.ne.jp</a>



2020年1月25日新年会から〈校歌斉唱点描〉 大きな声で、みんなで歌う校歌はまた格別。早稲田に学んだ青春の日々を思い出します。

〈編集後記〉 今回のコロナ禍は紺碧第52号の編集作業にも少なからず影響が出ました。当初特集候補のオリンピックイヤー関連がNG、次の候補の稲門会40周年事業関連もNG、その後、実総会も中止となって記事のやり繰りに苦心しましたが、なんとか発行にこぎつけました。自粛中は稲門会の会議替わりのメールやり取りが大幅に増え、ネットの力を実感させてくれましたが、暗い雰囲気の中で気持ちを和ませ笑わせてくれたのが、先輩会員や友人たちからメールで送られてきた多くの川柳集、風刺画・動画です。思わずにんまりして格好の暇つぶしになりました。そんな時事川柳、笑話の中から千葉在住の友人（昭43政経）作に面白いものがあつたので少しご紹介しておきます。（高原浩 記）

「アベノマスク ゴミと髪の毛 おまけ付き」、  
 「国民は 外出自粛 アキ自由」、  
 「民よりも 妻と自分と 犬が好き」、  
 「コロナ禍で 偽物バレた 官邸団」、  
 「黒ちゃんは チョンボをしても 6千万」、  
 「政治家は 税金だって 俺の金」  
 『クイズです「感染力は高いが、致死率が低い新型コロナウイルスと 感染力は低いが、致死率が高いペスト、どっちが怖い？」 答え「カミュのみぞ知る」』。

<p>深大寺そば 創業文久年間 ご宴会・俳句会・御法事 <b>元祖 嶋田家</b> 住所 〒182-0017 東京都調布市深大寺元町5-12-10 電話 042-482-3578 FAX 042-499-6655</p>	<p>「露ろろアースカフェ」代表 <b>山田 和子</b> (調布稲門会会長) 自宅 〒182-0035 東京都調布市上石原3-39-15 電話 042-488-0741 E-mail: <a href="mailto:kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp">kazuko.yamada@jcom.home.ne.jp</a></p>	<p><b>林建設株式会社</b> 取締役社長 <b>林 清一</b> 住所 〒182-8512 東京都調布市小島町2-56-3 電話 042-486-1111 FAX 042-486-1120</p>
<p>旭化成建材(株)指定工事店 外壁塗装・屋根塗装 <b>株式会社住まいるスズキ</b> 代表取締役 <b>鈴木 光孝</b> 〒182-0023 東京都調布市染地3-5-65 電話 0120-080-242</p>	<p>新技術 UV プリント 立体物などにフルカラーでダイレクト印刷 記念の贈答品やオリジナル製品をお求めの方に 名刺・ショップカード・ポストカード 記念誌・自費出版・アルバム等 <b>印刷 内田平和堂</b> 株式会社 <b>03-3300-7301</b></p>	<p>イベント・パーティー <b>(株)正直屋グループ</b> 住所 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町4-7-10 電話 03-3853-1171 FAX 03-3853-1493 <a href="http://www.shojikiya.co.jp/">http://www.shojikiya.co.jp/</a></p>
<p>相続を争族にしないために、 公正証書遺言をお勧めします。 <b>行政書士堀内綜合法務事務所</b> 行政書士 堀内正之 〒182-0035 東京都調布市上石原3-12-8 電話・FAX 042-499-1300 HPは「調布 行政書士 堀内」で検索</p>	<p><b>舟久保法律事務所</b> 弁護士 舟久保 賢一 住所 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-8 親和ビル5階 電話 03-6273-7917 FAX 03-6273-7918</p>	<p>宿泊・宴会・婚礼 <b>調布クレストンホテル</b> 住所 〒182-0026 東京都調布市小島町1-38-1 調布パルコ8~10F 電話 042-489-5000 FAX 042-489-1106 <a href="http://www.crestonhotel.jp">http://www.crestonhotel.jp</a></p>
<p>早稲田大学賛助商議員 調布稲門会 顧問 <b>元木 勇</b> 自宅 〒182-0003 東京都調布市若葉町2-22-10 電話 03-3300-4554 FAX 03-3300-8728</p>	<p>新しい食文化を創る <b>株式会社山田屋本店</b> 代表取締役社長 秋沢 淳雄 住所 〒182-0024 東京都調布市布田2-1-1 電話 042-482-4585 FAX 042-482-4572 <a href="http://www.okomekan.net/">http://www.okomekan.net/</a></p>	<p>調布稲門会 顧問 <b>椎原 大典</b> 自宅 〒338-0004 さいたま市中央区本町西4-17-25 コンフォール与野本町西501号 電話・FAX 048-853-8223</p>